

地方創生 × デジタル田園都市国家構想

times

- ・ 「地方創生」の取組みに「デジタル」の取組みを掛け合わせる（2つの政策を統合して実行する）ことによって、「地方創生」を何倍にも加速化・深化させる。
- ・ これまで推進してきた「地方創生」の取組みを継続的に支援することを前提とし、デジタル先進地域においては、先駆的な取組みを推進し、デジタルを活用した地方創生を広げていく。

○ 地方創生の本来の目的、地方創生が目指すべきもの

- ✓ 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。
- ✓ 人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持する。
- ◆ 4つの基本目標
 - 「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」
 - 「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」
 - 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
 - 「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」
- ◆ 2つの横断的な目標
 - 「多様な人材の活躍を推進する」
 - 「新しい時代の流れを力にする」

○ 地方が抱える根本的な課題

✓ 東京圏への転入超過

東京圏への転入超過は2011年以降、増加傾向にあったが、2020年はコロナの影響で△4.8万人と大幅な減少に転じた。転入超過の大半を占めるのは10代後半から20代の若年層というトレンドは継続している。

✓ 都市と地方の格差

仕事・収入や教育・子育て、医療、交通インフラをはじめ、都市で生活する人と地方で生活する人との間には格差が存在している。

デジタル田園都市国家構想が地方創生に与える影響・役割

デジタルによる地方創生の加速化・深化

オンラインを活用した関係人口の創出・拡大等、デジタルを活用して、地方創生の取組みを加速化・深化させ、地方創生の本来の目的、目指すべき姿を達成する。

デジタルによる地方の課題の解決

オンラインショッピング等を活用した販路の拡大等、デジタルを活用して、地方が抱える課題を解決する。

<デジタルの活用による政策項目>

- ✓ 教 育 ※GIGA スクール
- ✓ 医療・福祉 ※遠隔治療
- ✓ 労働生産性 ※農林業・土木における
Iot やパワーアシストロボットの活用等
- ✓ 交 通 ※自動運転、過疎地交通確保
- ✓ 物 流 ※ドローン
- ✓ 防 災 ※統合型高度防災システム
(Iot や高精度測位データ、DXの活用等)
- ✓ エネルギー ※分散型地域エネルギーシステム
- ✓ 新しい生活 ※二拠点生活、シェアリングエコノミー
- ✓ 生活利便性 ※マイナンバー・マイナポイント・キャッシュレス
- ✓ 地 域 産 業 ※観光 DX、POS レジ・電子帳簿システム・電子インボイス等

これまでの自民党における議論

- ✓ マイナンバーPT
(R2. 5. 19) 「マイナンバー制度等の活用方策についての提言」
- ✓ 経済成長戦略本部
(R2. 6. 22) 「ポストコロナの経済社会に向けた成長戦略」
- ✓ キャッシュレス社会実現タスクフォース (経済成長戦略本部)
※ R2. 2. 7～R2. 7. 3 10 回にわたり議論
- ✓ G I G Aスクール実装タスクフォース (経済成長戦略本部)
(R2. 3. 12) 「学校 ICT 環境整備に向けた提言」
- ✓ 消費拡大検討PT (経済成長戦略本部)
(R3. 8) 「ウィズコロナ・ポストコロナにおける
消費拡大・需要創出策に係る提言」 ※未決定
- ✓ デジタル社会推進本部
(R3. 12. 9) 「デジタル田園都市国家構想の実現に向けて」

地方創生における「デジタル田園都市国家構想」の方向性

- ① 地方を元気にする規制改革、国家戦略特区・スーパーシティ・スマートシティ、地方分権改革等との連携
- ② 既に議論され、取り纏められた提言の具体的施策の地方における社会実装
- ③ 提言に取り込まれていない課題・論点への対応

※ 上記の社会実装については、デジタルの活用に意欲のある地域を選定、モデル的な取組みを構築し、地方創生関係交付金（地方創生推進交付金や地方創生拠点整備交付金）で重点的に支援することを含めて検討する。